


## ステップ4

# リスク低減対策の検討と実施

### ■リスク評価に従い、リスク低減対策を検討し、実施しましょう。

- 誰が行うか  事業者や現場管理者が中心になって
- 許容可能なリスクレベルを超えているものについて、リスク低減対策を検討します。
- リスク低減対策の検討は、次の順番を参考に実施して下さい。
  - (1) 機械など本質安全システムの導入。
  - (2) 保護カバーの検討。
  - (3) 作業の仕組みの改善。
  - (4) 保護具の使用を検討。
  - (5) 安全作業基準や技能教育などの対策。
  - (6) KY活動。
  - (7) 安全標識の設置などの検討。

#### [リスク低減対策の例]

No.	リスク低減対策
1	① ハーベスタの導入
	② 正しい受け口、追い口、つるを作り、くさびを確実に使って倒す
	③ 退避を確実に実行する
	④ 風が強いときは伐倒しない
2	① 接近ブザーを携帯させる
	② 近接作業にならない山割りをする
	③ 伐倒合図を確実に実行する

- リスク低減対策の検討後、再度リスクの見積り・評価を行い、許容可能かどうかを確認します。

#### [対策後のリスク見積り・リスク評価の例]

No.	リスク低減対策	対策後のリスク見積り(予測)		対策後のリスク評価(予測) リスクレベル
		可能性	重大性	
1	①	○	○	1
	②	○	△	2
	③	○	×	3
	④	○	○	1
2	①	○	○	1
	②	○	○	1
	③	○	×	3

上記のリスクへの対応は、次のように考えることができます。


リスクレベル	リスクへの対応
3	受け入れ不可能なリスクであり、何らかの対策を実施する必要がある
2	許容可能なリスクであり、現時点では特に対策の必要がない(残留リスクあり)
1	受け入れ可能なリスクであり、対策の必要がない(残留リスクあり)

- 改善にあたり考慮すべき事項を検討し、優先順位を決め、リスク低減対策を実施して下さい。

## ステップ5

# 内容の記録

### ■ステップ1から4の内容を記録し、保存して下さい。

- 誰が行うか  事業者や現場管理者が中心になって
- この記録は、リスク低減対策の実施や今後のリスクアセスメントの資料とします。

# リスクアセスメント報告書

No.

対象作業名 : 伐木造材作業

実施者氏名 :

報告書作成日 :

No.	危険要因の内容		危険要因の洗い出し		リスク見積り(現状)		リスク評価(現状)		リスク低減対策	対策後のリスク見積り(予測)		優先順位
	作業名	内容	～するとき	災害に至るプロセス～したので	可能性	重大性	可能性	重大性		可能性	重大性	
1	伐倒作業	伐倒木	伐倒するとき	伐倒方向が変わり	△	×	4	4	①ハーベスタの導入 ②正しい受け口、追い口、つるを作り、くさびを確実に使って倒す ③退避を確実に実行する ④風が強いときは伐倒しない	○	○	3
2	伐倒作業	危険区域に入る	伐倒するとき	他の作業者が危険区域に入り	△	×	4	4	①接近ブザーを携帯させる ②近接作業にならない山回りをする ③伐倒合図を確実に実行する	○	○	3
3	伐倒作業	伐倒木	著しい偏心水を伐倒するとき	予期せぬ方向に倒れ	△	×	4	4	①ハーベスタ作業に変更する ②けん引器具を用いて伐倒方向を規制する ③正しい受け口、追い口、つるを作り、くさびを確実に使って倒す ④伐倒しない	○	△	2
4	枝払い作業	チェーンソー	枝払い作業中	キックバックが発生し	△	×	4	4	①プロセッサを使用する ②防護ズボンを着用させる ③正しい操作方法を身につける	○	△	3
5	玉切り作業	チェーンソー	材を玉切りしたとき	勢いあまってチェーンソーが押し出され	△	△	3	3	①プロセッサを使用する ②防護ズボンを着用させる ③正しい操作方法を身につける	○	○	3

## リスクの評価基準

災害の可能性	
可能性ランク	記号
かなり起こる	×
たまに起こる	△
ほとんど起こらない	○

## 災害の重大性

災害の重大性	
重大性ランク	記号
極めて重大	×
重大	△
軽微	○

## リスクレベル

リスクの見積り		リスクへの対応	
リスクレベル	リスクレベル	リスクへの対応	リスクへの対応
××	5	受け入れ不可能なリスクであり、即座に他の方法へ回避する必要がある	受け入れ不可能なリスクであり、即座に他の方法へ回避する必要がある
×△、△×	4	受け入れ不可能なリスクであり、抜本的な対策を実施する必要がある	受け入れ不可能なリスクであり、抜本的な対策を実施する必要がある
○×、×○、△△	3	受け入れ可能なリスクであり、何らかの対策を実施する必要がある	受け入れ可能なリスクであり、何らかの対策を実施する必要がある
○△、△○	2	許容可能なリスクであり、現時点では特に対策の必要がない(残留リスクあり)	許容可能なリスクであり、現時点では特に対策の必要がない(残留リスクあり)
○○	1	受け入れ可能なリスクであり、対策の必要がない(残留リスクあり)	受け入れ可能なリスクであり、対策の必要がない(残留リスクあり)